HNO210□ル

300134

HNO210□胞株は、頭頸部扁平上皮癌（HNSCC）のサブタイプである喉頭扁平上皮癌に由来する。この □胞株は、その遺伝的・分子的特徴について広範に特徴付けられており、HNSCCの病態と治療反応を研究するための貴重なモデルとなっている。HNO210の染色体比較ゲノムハイブリダイゼーション（ cCGH）解析により、いくつかの重大な染色体異常が明らかになった。特に、染色体領域 3q ′ 7p ′ 7q ′ 9p ′ 9q ′ 20p ′ 20qでDNAコピー数増加、3p ′ 4p ′ 4q ′ 21番染色体でコピー数減少を示した。これらの遺伝子変化はHNSCCでは一般的であり、攻撃的な腫瘍の挙動や患者の予後不良と関連している。

特に、多くのHNSCC□胞株でみられる3qや11q13のような領域の増幅は、CCND1（サイクリンD1）やCTTN（コータクチン）のようながん遺伝子の発現増加との相関から興味深い。これらの遺伝子はそれぞれ □胞周期の調節と□胞骨格の構成に関与しており、これらの遺伝子の過剰発現は□胞増殖、浸潤、転移の亢進に寄与する可能性がある。 HNO210□胞株は、その明確な遺伝的プロフィールをもって、喉頭癌の進行の根底にある分子メカニズムを研究し、これらの特定の遺伝子異常に対処する標的療法を試験するための強固なモデルとして役立つ。

さらにこの□胞株は、シスプラチンとサリドマイドの併用など、 in vitroおよびin vivoでの抗腫瘍活性の増強に有望な併用療法の有効性を検討するためのパネルの一部でもある。このことから、HNO210は基礎的ながん研究のみならず、HNSCC患者の治療成績を改善することを目的としたトランスレーショナル・スタディーにとっても極めて重要である。

概要

□明

HNO210□胞株は、頭頸部扁平上皮癌（HNSCC）のサブタイプである喉頭扁平上皮癌に由来する。この □胞株は、その遺伝的・分子的特徴について広範に特徴付けられており、HNSCCの病態と治療反応を研究するための貴重なモデルとなっている。HNO210の染色体比較ゲノムハイブリダイゼーション（ cCGH）解析により、いくつかの重大な染色体異常が明らかになった。特に、染色体領域 3q ′ 7p ′ 7q ′ 9p ′ 9q ′ 20p ′ 20qでDNAコピー数増加、3p ′ 4p ′ 4q ′ 21番染色体でコピー数減少を示した。これらの遺伝子変化はHNSCCでは一般的であり、攻撃的な腫瘍の挙動や患者の予後不良と関連している。

特に、多くのHNSCC□胞株でみられる3qや11q13のような領域の増幅は、CCND1（サイクリンD1）やCTTN（コータクチン）のようながん遺伝子の発現増加との相関から興味深い。これらの遺伝子はそれぞれ □胞周期の調節と□胞骨格の構成に関与しており、これらの遺伝子の過剰発現は□胞増殖、浸潤、転移の亢進に寄与する可能性がある。 HNO210□胞株は、その明確な遺伝的プロフィールをもって、喉頭癌の進行の根底にある分子メカニズムを研究し、これらの特定の遺伝子異常に対処する標的療法を試験するための強固なモデルとして役立つ。

さらにこの□胞株は、シスプラチンとサリドマイドの併用など、 in vitroおよびin vivoでの抗腫瘍活性の増強に有望な併用療法の有効性を検討するためのパネルの一部でもある。このことから、HNO210は基礎的ながん研究のみならず、HNSCC患者の治療成績を改善することを目的としたトランスレーショナル・スタディーにとっても極めて重要である。

ティッシュ	喉頭
病気	頭頸部扁平上皮がん（HNSCC）

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様

識別子

引用

HNO210 (Cytion カタログ番号 300134)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_D215

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

取り扱いと飼育

培地

DMEM，w：4.5g/Lグルコース、w：4mM L-グルタミン、w：3.7g/L NaHCO3，w：1.0mMピルビン酸ナトリウム（Cytion品番820300a）

培養雰囲気	37℃，5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml，T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml，T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、□胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、300xgで3分間遠心する。上清を捨て、□胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

流体の更新	週2～3回

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、□胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10％DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	69年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

第三者との契約が適用されます	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB